

平成 28 年 8 月吉日
秋田県秋田市第十一支部
すずき健太連合後援会

内部資料

鈴木 健太 県政報告会

フェイスブック

Facebook 活動報告

(2016 年 2 月 15 日～2016 年 7 月 25 日)



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件を追加しました。

2月15日 · 🌐

【健太を励ます会】

県政報告会『健太を励ます会』、昨夜無事に終わりました。大変多くのお客様にお越しいただき、また特別ゲストの橋本五郎さんにも対談していただいて素晴らしいイベントにすることができました。

関係者の皆様ほんとうにありがとうございました！



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件を追加しました — 鈴木 雄大さん、他3人と📍和風レストラン きりん亭にいます。

2月20日 · 秋田県 秋田県 男鹿市(日本) · 🌐

今日は午後からJA秋田みなみ青年部との勉強会に参加しました。

2時間にわたる報告と意見交換。皆さん真剣でやる気にあふれ、秋田県農業の未来を感じさせてくれる素晴らしい機会でした。

中泉まつじ参議院議員はさすが党農林部会の副部長、中枢の最新情報も生産現場もわかるだけに大変勉強になりました。

同期の佐藤のぶき議員からは県の農政報告。一生懸命勉強しております！





秋田県議会議員 鈴木健太

2月24日

【2月議会開会中】

15日より始まった2月議会も、本日で8名の一般質問がすべて終わり明日から審議に入ります。前半でH27年度2月補正予算、後半によいよH28年度当初予算を議決してまいります。

「あきた未来総合戦略」関連で381億円あまりの予算が組まれておりますが、おおまかに整理すると

①産業振興による仕事づくり 289.6億円

航空機産業の強化、新エネルギー分野への参入、農林水産業の成長産業化や観光を中心とした交流人口の拡大を柱として、多くの事業に予算取りされております。

②移住・定住 6.6億円

奨学金返還助成、新規事業である「ご縁」創出推進事業など。

③少子化対策 32.7億円

出会い・結婚支援事業の拡充、保育料・医療費の助成の拡充(これで21億)、多子世帯向けの新たな奨学金制度の創設などです。

④新たな地域社会の形成 52.0億円

子ども・若者育成支援推進事業と女性活躍推進事業の拡充などですが、大部分は流域下水道事業(33.2億円)が占めます。なぜこれが地方創生戦略なのかはよくわかりません・・・

私の所属する産業観光委員会でも多くの事業を所管しますので、これからしっかりとみていきたいと思っております。



秋田県議会議員 鈴木健太

2月26日

【私ではありません。(明言)】

本日発刊の某地元週刊紙に物議をかもし記事が掲載されておりますが、私のことではありませんので明言しておきます。

こういうことには全く関わりたくないのですが、どうも私とすり替えて話を広めようとする動きがあるようで大変腹立たしいので、あえて発表させていただきました。

つまらない策略を練るよりも、自分の行動について疑義が生じたならばはっきり説明するのが議員の責任だと思います。シロかクロかは知りませんが。



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真7件を追加しました。

2月27日

【田沢湖地域もろもろ視察】

フリースタイルスキー(モーグル)ワールドカップ秋田たざわ湖大会を見ついでに、選手の宿泊先ホテルと今春より『あきた芸術村』と名称変更してインパウンドに乗り出すたざわ湖芸術村を視察してきました。

スキー場には多くの外国人選手・スタッフが見られましたが、実は国外からの観客はあまりいません。昨年・今年と上村愛子様のおかげで人手を保っているのが実情とのことで、やはりまだまだ競技と地域双方の集客力が課題であります。しかしFIS(国際スキー連盟)関係者からは、県が昨年整備したジャッジハウスが『モーグル用としては世界一』のと評価を得ているようで、さらなる有効活用が期待できます。

選手の宿泊先として指定されているホテルは、wifiは整備されたもののやはり語学が課題。県とAIU学生などの支援でようやく対応している状況でした。選手が出払っていて直接話を聞けませんでした。食事や温泉はどうだったのでしょうか...

たざわ湖芸術村では、冬季にも関わらず小劇場での上演に多くのお客様が。台湾人と中国人が増えているそうで、中国人スタッフによる対応も可能になっております。いずれにしても、このへき地(失礼)に立地してこれだけ集客し、県外人も多く含む300人もの雇用を生み出していることはすごい一言です...

角館をはじめとする県南全域が大きく連携し、多くの外国人観光客でにぎわう秋田にしていきたいですね！



秋田県議会議員 鈴木健太

3月3日

【ハピネッツのアリーナに関する審議】

今週は朝から夕まで委員会審議が続いております・・・

書きたいことが山ほどありますが、今回はハピネッツのホームアリーナについて。

すでに報道のとおり、ハピネッツの新リーグ1部参入の条件である「5,000人以上収容のホームアリーナで80%のゲームを行う」をみたすため、秋田市立体育館(現在固定席2,468席)に移動仮設席を設置することとなりました。手動式の移動仮設席は1,680席分で、現在のピロティ(屋外のような屋内のようなところ)を改修してそこに収納します。それにアリーナ席と立見席852席で5,000席。

総事業費は3.6億円、そのうち半分の1.8億円を県が補助するとして予算案に盛り込まれました。これまでのハピネッツの活躍からかこの事業に反対する声はなく、H28年度当初予算として可決される見込みです。

ただ市立体育館でのゲームが増えることで、これまでそこを使用していた団体から懸念の声があがっていることを聞いていたので一応確認してみたところ、たしかにこれまでは全26ゲームのうち市立6ゲーム+県立12ゲームだったのが、今後は全30ゲームのうち市立で24ゲームと激増します。が、昨秋からの市と各団体との意見交換などを経て、県立への振り替えなどにより調整・対応できそうなので心配はない、との回答でした。

行政と関わっていると、どんな良い話でも新しく大きいことをやれば必ず困る人が出るのだなあ、ということを感じます。可能な限りていねいに理解を得ていかなければなりません。



秋田県議会議員 鈴木健太
3月6日

【新文化施設をめぐる審議状況】

H28年度当初予算で「文化施設整備推進事業」として初めて1,187万円あまりを計上しました。内訳は現況測量調査359万円、整備計画の策定712万円、推進事務費115万。整備計画→基本設計→実施設計→建設工事(一応予定ではH31着工～H33完成)、という段階を踏みますので、まだまだこれからであります。

私は独自アンケートなど様々な情報収集を経て、現地建て替えが最善とせざるを得ないと考え至っておりますので、かくなる上はその場所でいかに良い施設にできるかに焦点を当てています。敷地が13,000㎡あるといってもお堀側と和洋女子側の立派な保存樹のある土手は含まれているのか？(含まれていない) 道路側との段差はどうするのか？(掘り下げることも含めてこれから検討) 現地を見た限りではかなり狭い印象なので、本当に大型トラックが数台搬入できるような構造になるのか、といった具体的な質問をさせて頂きました。

秋田県議会議員 鈴木健太
3月10日

【Aターン就職面接会について要望】

来年度当初予算において、「秋田で就職応援団(Aターン)事業」に1,587万円余りが計上されています。その大半が東京のAターンプラザ運営費であり、年2回行っているAターン就職面接会の開催費は26万円余りと少額。かねてより参加企業のみなさんから「求職者の参加が少なすぎる」と不満を聞いていたので質問いたしました。

①H27の参加企業・求職者の数は？

第1回：37社に対し45名

第2回：36社に対し61名

ということで、3時間の開催時間を考えるとけっこう「暇」になってしまった会社もあるのではと推測。

②この開催費には面接会のPR費も含まれているのか？

PRはAターンプラザなどとともに行っているのですが、この他にそのための予算は取っていない(含まれている)。

...ということでしたので、複数の参加企業から県のPR不足について不満を聞いていること、わざわざ企業は人とお金を割いて上京してくれているのだから、さらに努力して多くの参加者を集めないともう出展してくれなくなる可能性もある、と要望しておきました。

H28年度は7月と1月に開催します。

ふるさと定住機構のリンクを貼っておきます(新年度面接会の開催案内はまだ)ので、皆さん機会をとらえて周知ご協力お願いします！

<http://www.furusato-teiju.jp/topics/>

お知らせ | 公益財団法人 秋田県ふるさと定住機構

秋田県での就職・定住の総合支援情報

FURUSATO-TEIJU.JP

秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件を追加しました —
鈴木 健太さんと📍 仙台商工会議所にいます。
3月27日・🌐

【東北インバウンドサミット】
東北6県のインバウンダー(造語)たちが集うサミットに参加してまいりました。
外国人客からすれば秋田県とか宮城県とかはまず関係ないわけで、『日本の北のほうの地域』が面白そうならお客さんがたくさん来るのだ、というのが単純明白な現実です。
外国人宿泊客数は東北6県合わせて日本全国のお客さんのわずか0.9%...オール東北で戦わねばならないのは言うまでもありません。
個性豊かな各県パネラーの中でも、わが秋田県代表の須崎くんはブレずにクールで論理的でした。ほんとに30才か?(笑)



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真3件を追加しました —
鈴木 健太さんと一緒にです。
4月5日・🌐

能代山本オープン政治塾『ど本気』のクロストークセミナーに参加させていただきました。
自分の選挙区外ということで、結構好きなことを話させていただきました... (笑)
ところで会場からの質問を紙で提出、という方法はすばらしいと思います。
手を挙げるのは勇気がいりますからね(^_^;)
会場からアリーナや文化施設に関する熱い意見が出ましたので、産業観光委員として現状を説明しました。





秋田県議会議員 鈴木健太

4月8日 · 🌐

新しいKENTA Report ができました！
市内の一部地域にポスティングさせていただきましたm(_ _)m
オフィスやお店でさりげなく県政活動PRにご協力いただける方がいらっし
ゃいましたら、是非お声がけ下さい。
喜んで持参します！m(_ _)m



秋田県議会議員 鈴木健太

4月14日 · 🌐

言ってくれました...
やっぱりこの人の発信力は大きいですね。
「選挙に不利だから」これまで言えなかったことを、はっきり言っていくの
が私たちの仕事。
若い世代の皆さん、自民党（とくに若手...）を毛嫌いしないでくださいね！
<(_)>

【全世代型の社会保障制度を 自民若手議員らが提言】
<http://www3.nhk.or.jp/n.../html/20160414/k10010478041000.html...>





秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真2件を追加しました。

4月19日 · 🌐

【自治体庁舎の耐震化率】

ハコモノにお金をかけるな

という気持ちは私にも結構ありまして、秋田市の新庁舎についてもちょっと贅沢かもね～のようなことを発言してしまったことがあります...

でも今は『とにかく秋田市は安心だな!』と思っている自分がいるのが事実。

この表中に後回しでもよい施設などないのですが、役場にお金かけるなんてただの贅沢だ!という論調が順位に影響しているのは確かでしょう。

現在の宇土市役所や阪神のときの神戸市役所をみれば、庁舎は最優先で整備すべき『ハコモノ』だと痛感します。



秋田県議会議員 鈴木健太

4月25日 · 🌐

【4月県政協議会】

熊本地震への対応などにつき佐竹知事による説明を受けました。

先日お伝えしたとおり、今は被災地の混乱を避けるため、災害協定等によるほか国や全国知事会からの依頼に基づいて下記の通りの支援を実施しています。これは東日本大震災での混乱を教訓に、各都道府県が各個に熊本と調整するのではなく政府などが集中管理するものです。

秋田県による人的支援

- ①県警ヘリ『やまどり』による初動の情報収集活動(4/19～4/21):警察庁の要請によるもの
- ②医師・看護師等による救護班6名の派遣(4/24～4/30):全国知事会の要請による
- ③応急危険度判定士16名の派遣(4/25～4/29)

少ないな...と直感で感じてしまいますが、都道府県が全部で47あり、近隣から順に手厚く支援していると考えればこれが適正なのかもしれません。他に県内9市町村から飲料水など支援物資が送られております。

個人的に物資を送るのはご法度だったり、いきなりボランティアで押しかけるのは迷惑だと言われたり、純粹に助けたいと思う気持ちを実行するのも簡単ではないですね...



秋田県議会議員 鈴木健太

5月7日 · 🌐

DISCOVER KAMENOCHO vol.4

に参加してまいりました。

2018年問題

ブランディングは『物語』である

伝統とは思想、技術、習慣

前二者は変えないで習慣を変えていってみよう

才能ある人たちの言葉から学んで役に立てていきたいですm(_ _)m



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真5件を追加しました —

友達: 石川徹さん、加藤 鉦一さん

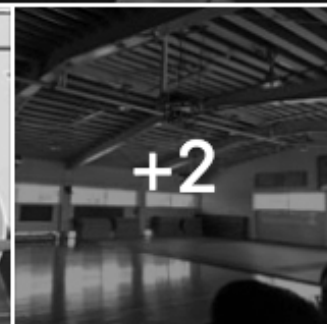
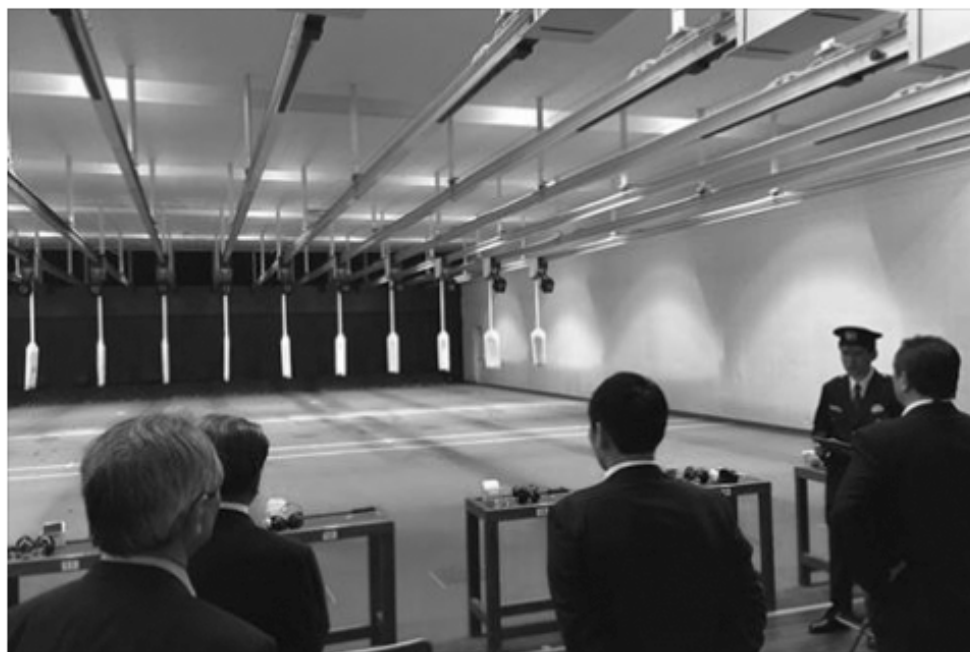
5月16日 · 🌐

【秋田県警察学校視察】

県議会教育公安委員会の視察に同行し、近場の視察をしております。

県警察学校では平成18年新設の射撃場を除き、多くの施設が老朽化しているとの報告がありました。

生徒さんたちの振る舞いはキビキビとして規律正しく、見ていて大変気持ちよかったです。





秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件を追加しました —

鈴木 健太さんと一緒にです。

5月17日

【SHARE VILLAGE 町村】

本日は総務企画委員会の視察にお邪魔して五城目町に来ております。ようやく見に来れたシェアビレッジ。築130年を超えるこの古民家を、クラウドファンディングを通じて集まった村民が払う『年貢』によって維持管理し、みんなで楽しく使いましょ！無理矢理一言でいうとこういう感じでしょうか...

世界を股にかけて活躍しているながら五城目町に住んでいる丑田俊輔さん。ひらめいたアイデアをまず小出しに試してみて、うまく行きそうなら集中投資する。『地域には宝がある』と頭ではわかっていながら誰もなかなか実行できないものですが、この辺が実現してしまう人のすごさなんだろうなあ、と納得してしまいました。

私も頑張ります...



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件を追加しました。

5月18日

【五城目その2 お互いさまスーパー】

浅見内地区にオープンした『みせっこあさみない』は、過疎地域の買い物難民対策のため、地域住民が主体となって営業する店舗です。この3月に県補助金と住民の寄付金によって開設されました。

仕入れには地元スーパーの『ダイサン』さんなどの協力を得て、地元ボランティアのお母さんたちが運営しています。

この地域は路線バスが廃止され、店や病院のある町までは往復1,000円の乗合タクシーしか移動手段がありません。いま県内3カ所での『お互いさまスーパー』事業が進められており、今後の展開が注目されます。

『商圏』は116世帯274名とのことです(°_°)





秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真2件を追加しました。

5月24日

【県政協議会】

まもなく始まる6月議会に先立ち、県政協議会が行われました。
 主な話題は96億円あまりの補正予算。テレビのニュースでは航空機産業など
 新技術開発の促進が取り上げられていましたが、私の注目はインバウンド誘
 客の強化に49,000万円の予算がついたことです！
 Wi-Fiやカード決済機能の整備促進、外国人の多い東京・京都などへのPR強
 化、北東北3県連携の観光ルート構築など。来月に一般質問で言おうかと思
 っていたことがかなり盛り込まれていたの、正直どうしようかと思っていま
 す...
 後から発言しておいて『いや一言い続ければかなうもんですね！』などと自
 分の手柄にするわけにもいきませんし...(^_^;)



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真8件を追加しました。

5月26日

【大館ひとり視察】

一人旅はあまり好きじゃないのですが、誰も付き合ってくれないので行って
 きました。

①DMO『秋田犬ツーリズム』

若き福原市長の肝いりで、全国でもいち早く設立に至ったDMO(観光地域作
 りのための団体)です。樹海ドームにある事務局へ状況を伺いにいきました。
 初年度はターゲットを台湾！と明確に絞り、函館～青森まですでに来ている
 台湾からのお客さんを狙います。市の担当者さんの『外国人観光客はもとも
 とほぼゼロだから、私たちには伸びしろしかないんで...』との言葉にひそか
 にしびれました(▽)

②御成座！！(オナリザ)

いや一聞いたことはあったのですが、こんなにすごいとは思いませんでした。
 大館の宝です。1952年開館、2005年閉館した映画館...で終わるところだ
 ったのが、2年前に関東から転居してきたある家族が復活させました。仕事
 の関係で大きめの住居を探してて、家だと思って借りようとしたら映画館だ
 った。まあいっかと改装して住んでるうち(ここがすでにおかしい)、地元の
 みなさんの希望もあって営業を再開した(電気通信設備やさんなのに)。とい
 うハチャメチャなことを館主の奥様がサラッと話してくれました...もっと深
 く知りたいです(^_^;)

ちなみに昨年なんと柴崎コウのシークレットライブが行われました。

③秋田犬会館

展示室は4時で閉まってしまい、見られず...



秋田県議会議員 鈴木健太さんが秋田県防衛協会さんの写真をシェアしました。

5月30日 · 🌐

本日18時開催されます、秋田県防衛協会主催の防衛講演会をぜひ一度聴いてみて下さい。

TV、新聞、ネット、さまざまなソースで報じられているこのテーマについて、長年研究してきた第一線の講師が秋田でお話しする滅多にない機会です。

質問の時間もありますので是非ご参加ください。

ちなみに司会は私です...



防衛講演会

入場無料

平和安全法制の真実

講師：防衛知識の第一人者
田村 重信 氏

■開催日：平成28年5月30日（月）
18:00～19:45（開場17:30）

■場所：にぎわい交流館AU（あう）
【3階多目的ホール】

◆ 事前に申し込みの必要はございませんが、会場が定員になり次第締め切りとさせていただきます。あらかじめご了承ください。

■主催：秋田県防衛協会

お問い合わせ先：
秋田県防衛協会事務局
秋田市山王3-1-7 東2ビル407
TEL 018-853-1161

秋田県防衛協会

5月30日 · 🌐

👍 いいね!

【本日18時開催です！】

平和安全法制について、防衛法制の第一線の研究者が講演を行います。

賛成、反対、いずれの意見にも耳を傾けたうえで日本の平和について考えてみませんか？

申込不要、無料です。

本日18時、にぎわい交流館AUの3階へどうぞ！



秋田県議会議員 鈴木健太

6月2日・🌐

【一般質問やります】

6月7日火曜日10:00～@秋田県議会

2度目の一般質問の機会を頂きました！

『未来志向』と『大きな戦略』が共通テーマです。

ご都合のつく方はぜひ傍聴下さい。

予約なしでも大丈夫ですが、事前にご連絡いただければ助かります。

鈴木けんた 一般質問のご案内

と き:平成28年6月7日(火)
AM10:00～11:00頃(9:30までにおいで下さい)
ところ:秋田県議会(〒010-0951 秋田市山王4丁目1-1)
定 員:約200名

- 1 次世代の交通戦略について
- 2 外国人観光客の誘致戦略について
- 3 ICT産業の振興戦略について
- 4 学童保育における待機児童について
- 5 県市連携文化施設について

※内容は若干変更になる場合があります。



電 話:018-883-0605

傍聴(無料)ご希望の方はご連絡ください。



秋田県議会議員 鈴木けんた

〒010-0842 秋田市手形山北町 4-5
TEL 018-883-0605 FAX 018-883-0575



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真2件を追加しました —

鈴木 健太さんと一緒にです。

6月5日・🌐

【自民党青年局・全国一斉街頭】

本日09:30秋田駅前を皮切りに、市内3カ所で全国一斉街頭行動を行いました。県議同期の40代4人が集結！

私はアベノミクスと秋田県経済というテーマでお話いたしました。

・ 県の有効求人倍率

2011年:0.57→2016年1月:1.08

・ 県税収入

2012年:789億円→2015年902億円(見込)

たしかに消費税率UPできるレベルまで来なかったのは事実なのですが...これを失敗だ失政だという方々が政権を担っていた時よりは、はるかに『マシン』になっているのです。

何より、国からお金を引っ張ってくる国会議員が、秋田県の与党に5人いることにどれだけ価値があるか、ということについて訴えました。

多くの皆さんに手を振っていただき、とても勇気付けられました！





秋田県議会議員 鈴木健太

6月7日・🌐

【一般質問おわりました】

いや〜ぶじに終わりました。

2回目でもやっぱり緊張しました。

長いですが、1日1項目ずつ全文を掲載します。

動画も明日には見られると思います。

http://smart.discussvision.net/.../pref_aki.../WebView/list.html

①次世代の交通戦略について

いまや国民の二人に一人が使用しているといわれるスマートフォン、いわゆるスマホがこの世に登場したのはいつ頃だったのでしょうか。これが我が国で急速に普及し始めたのはおおむね2010年、今から僅か6年前のことです。それ以前もごく一部で使用されてはいましたが、多くの方がそれまでスマホというものの存在すら気にもかけていませんでした。すでに皆様がお気づきのように、世界の変化するスピードはかつてないほどに速まっており、しかもこれからますます速度を上げていくものと思われれます。

これは情報通信技術という分野に限るものではありません。自動車においては2020年、わずか4年後に大手自動車メーカーが自動運転車両の高速道路での実用化を目指して開発を進めております。旅客運送においては、様々な問題点を抱えつつもライドシェア、つまりITを活用した乗り合いタクシーが諸外国において導入され、また大手運送業者も2020年を目途にドローンが荷物の戸別配達を行うことを目指すと明言しているなど、交通・運輸業界においてもすさまじいスピードで技術革新が起きております。

一方で本県の公共交通に目を向けてみますと、今まさに深刻な課題に直面しているといえます。広大な県土と歯止めのかからない人口減少。モータリゼーションの進展で鉄道の旅客数は激減し、バス路線の廃止も相次いでおります。過疎地域では公共交通が途絶え、それがさらに過疎を早めているという現状をみると、この公共交通の改革は、これから人口減少問題に立ち向かう本県の最重要課題に位置付けられるべきと考えます。

「公共交通改革」が求められる理由はもう一つあります。本県における交通事故件数は、平成22年の3,206件から平成27年には2,151件と、県警の事故防止施策や安全技術の進歩などによって約33パーセントも減少しております。しかし、そのうち高齢者の過失に起因する事故は600件から508件と15パーセント程度しか減少しておらず、その交通事故全体に占める割合は一貫して大きくなっております。こうした状況を受け、来年には高齢者の免許更新手続きが厳格化されるため、免許の取消や自主返納が増加していくことは避けられません。団塊の世代が後期高齢者となるまであと10年を切り、これから自動車を運転できない高齢者が激増する本県での県民の交通について、知事はどのようなイメージをお持ちなのかお伺いします。

この激動の時代において、5年後、10年後すら予想するのは困難だと思えますが、しかしだからこそ、まちがいなく直面する「交通弱者の大量発生」という危機に対して、少なくとも最新の情報を収集し、県として次世代の公共交通戦略について研究を重ねていく態勢を整えることが必要ではないでしょうか。今年三月、長崎県の南島原市は観光地における自動走行システムの実証実験を行いました。公共交通の空白地域において、点在する観光資源の活用と山間部を結ぶ生活交通の両立を目指すもので、本県との共通点が非常に多い地域での取組です。本県も過疎化・少子高齢化のトップランナーとして、ぜひとも斬新な、思い切ったチャレンジを検討していただきたいと考えますが、知事はどのようにお考えでしょうか。





秋田県議会議員 鈴木健太

6月8日



【一般質問その2】

②ICT産業の振興戦略について

平成24年経済センサスによると、ICT産業の国内売上は約21兆円にのぼり、これは宿泊業と飲食サービス業の合計を上回る規模となっています。また、そのうち本県の売上高は約206億円、全国のわずか0.1パーセントであり、これは47都道府県の中で39位に位置しております。

先ほど申し上げましたとおり、この分野での技術革新はスピードを増すばかりであり、かつてパソコンでつながっていたインターネットの世界が、まもなく片手で持ち歩けるスマホにも広がり、わずか数年でそれも当たり前になって今度は家電や自動車といったモノのインターネット化、いわゆるIoTが進み、近い将来、ほとんどのモノがインターネットに接続される時代が確実に来ると言われております。

知事はすでにこのICT産業の可能性に着目され、第2期ふるさと秋田元気創造プランにおいて「秋田の成長をけん引する企業の育成と成長分野への新たな事業展開」の施策の方向性の5番目として「付加価値の高い情報関連産業の確立」を挙げており、さらに平成26年3月、秋田県情報産業振興基本戦略を策定しております。また、昨年策定したあきた未来総合戦略においては、15ある重点プロジェクトの三番目の柱として「ICT専門人材育成と高度ICT企業の誘致」を挙げ、すでに今月、仙台を拠点とする高度ICT企業の県内誘致にも成功されております。

一口にICT産業と申しまして、その中身はプログラミング、ウェブコンテンツ、3DCG、ネットワーク、サーバービジネスなど、多種多様かつ一般人にはすぐ理解できないような業務内容となっております。私も自分は不得手だから、とこれまで避けて通ってきたというのが正直なところですが、しかし近年の世界の変化を目の当たりにし、もはやこのICTというもの正面から受け止めていかなければ、秋田は日本そして世界からまた取り残されてしまうと思ひ至り、本日あえて知事に質問させていただくものです。

まず、秋田県情報産業振興基本戦略に定めた目標、つまり売上高を平成22年度の約190億円から平成29年度までに380億円に倍増させるという数値目標の、現時点における達成状況とそれに対する知事の所感をお聞かせください。

現在、このICT産業の振興という大事な役割を担う産業労働部商業貿易課情報産業班は、僅か4名で構成されております。この部署が立ち向かっていくICT産業の巨大さ、将来性、可変性そして現在のICT産業戦略が10年後20年後の本県経済に及ぼす影響の大きさを考えると、あまりにも小さいのではないのでしょうか。高度ICT企業の経営者と意思疎通を図り、秋田に目を向けてもらうためには、ICTに関する相当ハイレベルな知識が不可欠ですが、限られた人員でこの業界の最新情報に追いついていくのは容易ではないと思います。他県に先んじ、先行投資のつもりで今から予算や人員を増加すべきではないかと考えます。

首都圏や海外で事業を展開するあるICT企業の経営者が次のように話しておりました。儲かっているICT企業の社長は多くが20代、30代であり、西日本の出身者が多く秋田県人の社長はまず見当たらない。しかし技術者として見たときに、秋田出身者はとても勤勉実直で信頼でき、人材確保の観点から秋田にはたいへん魅力がある、ということです。現在、県内の大学・専門学校等で情報関連教育を受けている学生は1,100名を超えておりますが、その県内就職率は他の産業に比べ極めて低い状況です。これは県内に就職先を見つけられないことが原因と思われ、それは裏を返せば、県内に有力なICT企業が増えれば、人口流出の抑制に大きな効果が得られるということを意味します。全国的に人材不足となっているICT業界は、これまで海外に外注先や人材を求めてきましたが、やはり言語や感性といった国籍の壁がコストとなることが明らかになり、現在はオフショアからニアショアへ、つまり日本国内の地方が人材供給地として注目を浴びています。

またICTは本来、地理的ハンディが比較的小さい産業です。大災害の多発する現代においては、大都市圏から離隔しているという点はむしろセールスポイントとなりますし、冷涼な気候は空調コストの大きなデータセンターの立地にたいへん有利であり、現に北海道石狩市では市の誘致によって民間企業が巨大なデータセンターを開設しました。これからますます成長していくICT分野は、本県にとって将来まで十分に戦っていける産業です。未来への種をまくつもりで、このICT産業への政策を強力に推し進めて頂くことを期待しておりますが、ICT産業の振興に係る方針や重点的な取組分野、推進体制など具体的な戦略について、知事のご所見をお伺いします。



秋田県議会議員 鈴木健太

6月9日

【一般質問その3】

③外国人観光客の誘致戦略について

訪日外国人旅行者数が今年2,000万人を超えることが確実視される中、政府は今年3月にまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」において、2020年にそれを4,000万人まで増やすという目標を明示しました。また中でも、これまで低調だった東北六県での外国人宿泊者数を2020年に震災前の3倍、150万人泊に押し上げることを目指すとされました。本県のあきた未来総合戦略でも、2019年に外国人延べ宿泊者数を倍以上の10万人まで増加させるとの目標を掲げております。現在、本県のインバウンド戦略としては台湾、タイ、韓国をメインターゲットとして誘客を推進しておりますが、この目標10万人の内訳、国籍別の目標はどのようなイメージをお持ちなのか、知事のご所見をお伺いします。また、団体ツアー客と個人旅行者客(FIT)とでは、どちらに重点を置いて目標達成に向かうのかも併せて伺います。

ご承知のとおり、世界に対して秋田県は知名度が低く、犬の種類として「AKITA」は有名ではありますが、「AKITA Prefectureに行ってみよう」と思う外国人は皆無であると思われる。あくまで外国人が本県を訪れたいという動機は、ある絶景、ある日本食、魅力的な伝統文化や自然体験など、個々のコンテンツ、観光商材に興味を持つことから生じるものです。それも県という枠組みの中だけではなく、東北という地域全体がそれぞれの魅力を結集し、「本州の北の方」くらいの広域でPRして初めて存在感をもつ観光地になるのだと思います。国交省の東北圏広域地方計画においても、「日本の奥の院・東北探訪ルート」と銘打った広域観光周遊ルートの形成を促進することとしております。

そうした流れの中、私は、今年3月に仙台で開催された「東北インバウンドサミット」という会議に参加してまいりました。東北各県からインバウンド関係者150名ほどが集まっていたのですが、本県からは僅か5人しかおりました。実はこの状況を私は予想しておりました。それは同じ日の同じ時間帯に、本県の観光関係者を集めた勉強会が横手市で開かれていたからです。サミットでは各県代表が登壇するパネルディスカッションもありましたが、本県からも若手起業家が参加し、立派に秋田の顔として存在感を放っておりました。これから外国人旅行者を呼ぶため東北六県でまとまろうとしているときに、外側の集まりには顔を出さず県内で集まって会議をしているというのは、何か象徴的な出来事でした。

そこで知事に伺います。インバウンドに関して、他県との連携はどの程度進んでいるのでしょうか。また、これからどのような形で連携を深めていかれるのでしょうか。ただでさえ東北自動車道と東北新幹線という大動脈からそれている本県です。他県との協働にはどの県よりも積極的でなければならぬと思いますが、現状と展望をお知らせください。

外へ目を向けるということに関連して、もう一点伺います。昨年まち・ひと・しごと創生本部がリリースした地域経済分析システム、通称RESASは、ビッグデータを解析・可視化することにより、各地域・各産業の実態を正確に把握し、政策立案やPDCAを容易にするものです。すでに北海道帯広市では、RESASの分析結果に基づき近接市との連携による外国人観光客誘致事業を開始しました。宮崎県日南市では、同じくこの分析に基づいてIT企業誘致政策を実施した結果、3社の誘致と100名を超える新規雇用創出の実績を上げているなど、全国で活用事例が報告されています。外国人旅行客の行動傾向を知ることはその誘致において極めて重要だと思えますが、本県インバウンド関連施策におけるRESASの活用状況についてお知らせください。

次に、DMO（観光地域作りのための組織）への関わり方について伺います。現在、本県では県北部の「秋田犬ツーリズム」を筆頭にいくつかのDMOが活動を始めております。地域ごとのDMOが個々に活動するだけでなく、旅行客側の目線で考えるとやはり複数の県内DMOが協働したり、県境をまたいでエリアとして複数DMOがともに行動する必要があります。そこでの県の役割は非常に重要だと思えますが、各DMOに対する県の働きかけについてどのような考えをお持ちなのか伺います。

この項目の最後として、県の観光戦略策定の必要性について伺います。青森、岩手、山形、宮城いずれの隣県も5年程度の中期観光戦略を策定しております。本県では同様の戦略を策定する予定はないのでしょうか。第2期プランとあきた未来総合戦略の該当箇所に基づいて事業を行っているとのことですが、本腰を入れて本県の観光産業を盛り上げるのであれば、やはり観光に特化した戦略を定める必要があるのではないかと考えますが、知事はいかがお考えでしょうか。



秋田県議会議員 鈴木健太

6月10日・🌐

【一般質問その4】

④県市連携文化施設について

県はこれまで、全6回にわたり開催された整備構想検討委員会をはじめ、様々な機会に県民からの意見を取り入れてまいりました。この検討委員会には、観光協会、芸術文化協会、観光コンベンション協会、吹奏楽連盟や商店街連盟などたいへん多くの業界団体の代表が参加され、施設の立地や規模、求められる機能など、基本的な事項について様々な意見が交換され、それらを参考に「新たな文化施設に関する整備構想」、「新たな文化施設に関する基本計画」、そして「県市連携文化施設の整備方針（案）」が順次まとめられております。

それらの記録を拝見すると、それぞれの当事者が想定する事業の内容や規模が千差万別な中で、秋田県民会館所在地への建て替えという立地案、そして大ホール2,000席と中ホール800席の規模という結論を導き出されたものと考えます。これはなるべく多くの県民に新しい施設を利用してもらいたいという思いと、周辺への経済波及効果や秋田市の都市計画との関係などを総合的に勘案すると、最良の案ではないかと私も感じております。

しかし一方で、この施設に従来の文化的ニーズをしっかりと満たしていくという機能に加え、交流人口のさらなる拡大という新しい役割を求める者としては、今少し注文させていただきたいことがあります。

昨年末、私は、秋田県民会館において過去に大規模イベントを主催した団体に対してアンケートを行いました。平成25年・平成26年の2年間で入館者が1,600名を超えた事業は合計で67回あり、それらを主催した23団体のうち県と県民会館を除いた21団体へ依頼し、13団体から回答を得たものです。その中で特に目についたのは、駐車場の問題です。知事はかつて、「県民会館で駐車場に関するクレームはない」とご発言されていたと記憶しておりますが、アンケートでは「駐車場についてのクレームを受けたことがあるか」との単純な設問に対して、13団体中「ある」が7団体、「ない」が5団体、「不明」が1団体。そして「ない」と回答した5団体のうち3団体は「以前は毎回のようにあった」など、かつてはクレームを受けていたことを付記して回答しておりました。

このうち県外から多く集客する音楽ライブ事業等を行っている担当者に詳しく話を聞くと、実情はさらに深刻です。県外から来場してくれるお客様は、現実には大部分が自家用車で来ます。少し大きな催し物があると県民会館周辺の駐車場はすぐに満車になり、「近傍をぐるぐると回っているうちに開園時間に間に合わなかった。もう二度とこの会場には来ない。」こうした怒り心頭のクレームを毎回のように受けるというのです。駐車場はいらないという人もいますが、絶対に必要だという人も相当数います。これがお客様を集める施設である以上、出演者側の意見ばかりではなく、直接お客様と接している現場の意見にもっと耳を傾けてみるべきではないでしょうか。予算の都合、敷地の制限、様々な理由はあるのですが、それらはすべてサービスの売手側の事情であり、利用するお客様には関係のない話です。お店側の都合を客の満足よりも優先させるのではなく、素直にお客様の求めるものをどうやって提供しようか、という商売人の視点をもって整備計画の策定にあたっていただきたいと思いますが、知事のお考えはいかがでしょうか。

具体的には、提案されているニューシティ跡地は遠すぎます。近傍に大きな空き地がないのは事実なので工夫が必要だと思います。旧県立美術館の、建物を解体するかどうかは別として、空いている敷地を有効に利用する、秋田市立図書館の駐車場を立体化して収容車両数を増やす、または新築する文化施設の敷地内に少しでも駐車場を確保するよう設計に留意する、など全力で工夫していただきたいと思います。駐車場については千秋公園の活用にも直結します。自家用車や観光バスが少しでも停めやすくなることで、この市内屈指の観光資源がさらに生きてくるものと思います。

また、機材の搬入搬出口にも大きな改善を求める声が上がっております。現在の県民会館の搬入口は大型車両の取り回しが難しく、その不便さからある大物歌手に二度と来ない、と言われてしまったという話も聞きます。この点は構想検討委員会でも取り上げられているので期待をしておりますが、今一度知事のお考えを伺います。

もう一点、こちらはお願いですが、二つのホール相互の音漏れ対策についてです。大ホールと中ホールが一棟の建物内に存在する場合、空調設備等を通じて互いに音が響いてしまうことがあり、例えば、大ホールでロックコンサートが行われるときは中ホールで舞台演劇などを開催することが困難になるケースもあると聞きます。設計の段階で、こうした細かい現場の意見もできる限り拾い上げて、すばらしい施設を整備していただくようお願い申し上げます、この質問項目を終わります。





秋田県議会議員 鈴木健太

6月12日 · 🌐

【一般質問その5（おわりです）】

⑤学童保育における待機児童について

県内の児童数が減少を続ける一方で、共働き家庭の増加などにより学童保育の登録児童数は増加の一途です。この状況を受けて県も整備事業を進め、県内の放課後児童クラブ数は、平成22年度の193カ所から平成27年度には243カ所と大幅に増加しました。ところが、それでも県内の待機児童は変わらず、昨年からは六年生までを対象児童としたこともあり、全県でクラブに登録できなかった児童は81名に上りました。

私は、実はこの数字にも違和感をもっています。全県で81名という割には身近なところにクラブに入れないというお母さんの声が多いからです。私の地元、秋田市東部は児童数の減少が緩やかで、学校や学年によっては昨年より増加する年もある地域です。転校生や障害児などは特にそうですが、慢性的に放課後児童クラブへ入りづらい状況となっています。これには、子育て支援新制度により施設の面積要件の適用が厳格になるため、定員を逐次減らさざるを得ないクラブが出てきたことも拍車をかけています。

学童保育における待機児童とは、クラブに利用申し込みしても登録できなかった児童を指すとのことですが、私の周辺では近隣の施設が定員オーバーであるためそもそも利用申し込みをしていない、という声が多く聞かれます。利用申し込みをしないのだからそこまで切迫していないのだろう、そのような世帯の子まで待機児童としてカウントする必要性は低い、というのがその定義の理由なのかもしれません。しかし、本県の少子化がすでに危機的状況にあり、様々な手段を講じてもなかなか改善できないという状況を考えれば、この潜在的待機児童ともいべき子どもの世帯、つまり「もし簡単に入れるのなら子どもを学童保育に預け、しっかりと働きにいきたい」と考える親たちの期待に応えることは少子化対策として効果があるのではないかと思います。

平成25年度に実施した県内各市町村によるニーズ調査と、平成27年現在の学童保育の利用率を照らし合わせると、全県平均としては学童保育が深刻に不足している状況ではありません。しかし、秋田市をはじめ一部の市町村では本来のニーズに対して実際の利用率が相当低いところがあり、ここに潜在的待機児童の存在を推測できると思います。

学童保育は一義的に市町村の担うべき役割であり、県としてはそれを補助する立場であろうかと思いますが、定型的な「待機児童」の定義をもって学童保育の充足が達成された、達成されない等と安易に判断するのではなく、さらにきめ細かく、数字に表れない部分に思いを致しつつ、より実効性のある少子化対策を講じていただきたいと思います。それについての知事の所見をお願いいたします。

以上で私の一般質問を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



秋田県議会議員 鈴木健太さん (📍 アゴラ広場)。

6月16日 · 秋田県 秋田県 秋田市(日本) · 🌐

【必勝コール動画】

自分の人生において、総理大臣、元パリーグ打点王と並んで壇上に立つとは夢にも思いませんでしたが...(^_^;)

一生懸命つとめました。





秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件を追加しました

鈴木 健太さんとアゴラ広場にいます。

7月4日 22:49 · 秋田県 秋田県 秋田市(日本)

【小泉進次郎演説会】

司会の大役を務めさせていただきました...

35才のプリンス、演説が神レベルでした(°_°)

また工藤よしのり支部長の発案により、前座で学生さんたちを招いて若者の意見を聞き出しました。

『こういうこと言って』という仕込みはもちろんしなかったのですが、みんな本当にしっかりしてて素晴らしいプレゼンでした！

女性のフィーバーがすごすぎて、私と混ざったのか『健次郎〜!!』との叫び声も(笑)



秋田県議会議員 鈴木健太

7月8日 22:30

【2/3について少し補足します(憲法96条)】

各議院の2/3というのは、憲法改正できる数ではなくて『憲法改正を発議し、国民投票にかける』ために必要な数です。

つまり『まず2/3をとらせないこと』というのは、国民投票にかけさせないようにするためのキャッチフレーズです。

日本国憲法 第96条

この憲法の改正は、各議院の総議員の三分の二以上の賛成で、国会が、これを発議し、国民に提案してその承認を経なければならない。この承認には、特別の国民投票又は国会の定める選挙の際行われる投票において、その過半数の賛成を必要とする。



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真5件を追加しました。

7月14日 17:48 · 🌐

【仙北・平鹿地区を視察中】

13日～15日と産業観光委員会の県内調査に出ています。

厳しい経営状況の田沢湖スキー場、インパウンドにおいて秋田を引っ張ろうと意欲十分のあきた芸術村(この2つは冬に個人で視察しましたが...(^_^;))、そして300年を超える鈴木酒造店さん(ひでよし)の酒蔵観光の好況などなど...昨日は晴天に恵まれました。

本日は雨の中、大仙市の花火産業構想、テストウィッグで全国シェアトップの株式会社レジーナさん、横手工業団地の日立オートモティブシステムさん、そして浅舞酒造さん(天の戸)の酒造米農家との信頼関係。。やはり現場で学ぶ意義は大きいです！



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件を追加しました。

場所: 📍 中野サンプラザ

7月23日 16:16 · 東京都 Nakano-ku(日本) · 🌐

【Aターン就職フェア視察】

東京中野サンプラザで行われているAターン就職フェアを見に来ました。以前から参加企業のみなさんより様々なご指摘を頂いていたので、現場はどうなのかと...

今回から『フェア』ということで、移住なども含めたより総合的なイベントとしてPR。そのせいか、出だしの人出はまずまずです。

なぜこの場所なんだ！という疑問に対しては、会場使用料が安いというのが最大の理由のようです。たしかにこの面積の会場を丸の内など都心部で借りたら軽く一本超え...限られた予算の中では止むナシなのかもしれません。

それよりむしろ『周知』の方が問題。広く首都圏に散らばる県出身者やAターン希望者にアクセスするのは費用的にもかなり大変で、県や各団体のHP掲出が中心となっているのが現状です。今回は最終的に何名が来場して下さるのでしょうか...



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真5件を追加しました。 7月24日 12:55

【秋田県食肉流通公社を視察】

本で行われている秋田牛枝肉共励会の様子と食肉加工・流通状況を調査しにまいりました。
かつて市町村ごとにあった屠畜場を昭和53年に集約・新設した施設。県内で生産される牛の6割、豚は8割以上を処理しています。
巨大な牛の枝肉の競りが行われていましたが、スーパー種牛『義平福』の活躍?などもあって価格は上昇傾向とのこと。一昨年売り出した新しい統合ブランド名『秋田牛』に、初めは内心ええ〜...と思ってしまった私ですが、決まった以上は応援するしかありません。
みんなで秋田のコメと牛を食べましょう!!!



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件を追加しました — 鈴木 健太さんと一緒にです。 7月25日 23:54

秋田を変える最先進企業が本社移転してくれました...
自社での雇用創出とか納税だけではなく、来たるべき高度ICT社会での強力なインフラを提供してくれる会社です。
『S2がいるから秋田に進出しようと言ってもらえる会社になる』
...超楽しみです。
からのASEAN次官級交通政策会合。久しぶりに英語で会話したけどかなり錆び付いてる...(°_°)

